



TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2626回 例会
プログラム
創立記念(夜間)
No. 2481 8月13日(木)

次週以降の予定

8月20日(木) タイヤの世界パートII
8月27日(木) 地区大会準備会議
9月3日(木) 定時総会

第2625回 例会報告

2009年 8月6日(木)

会長挨拶・報告



いよいよ地区大会まで2ヶ月を切りました。伊藤副会長担当の囲碁大会は9月20日です。1ヶ月半しかありません。12日の締切り以後、皆様の仕事が増えて参りますが、よろしくお願ひ申し上げます。

昨年より滝川大会の計画を作って参りましたが、ロータリー情報マニュアルに地区大会のことが書かれておりますので、抜粋して紹介させていただきます。(目的) 朋友との交流、感銘深い講演、地区内クラブやRI全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進する。

(要件) ①RI会長代理に、少なくとも2回は大会で講演する機会を用意する。この2回のうち1回は、配偶者を含める最多数の出席者を見込める大会会議で20~25分間主要な講演をする。②前ロータリー年度の監査済みの財務報告を討議し採択する。③規定審議会の2年前のロータリー年度の地区大会では、地区の規定審議会代表議員を選出する。

(推奨事項) ①最大限の出席を達成するために、費用を適当な額にする。②会期は2日以下であってはならず、3日を越えないようにする。③ロータリーおよびロータリー財団に関する内容を重点をおいた均衡のとれたプログラムを含める。④地区の決議事項を検討する。⑤適切であれば、新しいロータリアン、地区大会に初めて出席するロータリアン、クラブ会長およびその他の人に特に歓迎の意を表す。⑥「友愛の広場」などでクラブや地区のプロジェクト展示を行うよう推進する。⑦RI会長代理の経歴を見分け、適宜、討論やその他のセッションに参与してもらう。⑧クラブ会長を務めた、あるいはクラブで指導的な役割を3年以上務めた関心をもつロータリアンのために、地区大会の直前、直後に丸1日を充てた地区指導者育成セミナーを含める。などが書かれており、初めて読んでみましたが、今までの準備の中で大きく外れていない事を再確認でき、安堵いたしました。

幹事報告



1. 羽幌RCより活動計画書、砂川・赤平・深川RCより8月例会プログラム、深川・羽幌RCより会報が届いております。

2. 先週「ダム、ゼツタイ」普及運動の募金(9,797円)を皆様にご協力いただきました。10,000円にして昨日送金させていただきました事を報告いたします。

3. 前年度最終号のガバナー月信、今年度の第2号を購読者の各ロッカーへ入れてありますので、ご一読ください。

4. 本日、午後6時30分より第8回定例理事会を開催いたします。役員・理事の方は、当ホテル2階カトリアにお越しください。

委員会報告

宮崎親睦活動委員長

8月13日(木)18時よりホテルスエヒロ(エレガンスホール)にて、創立記念夜間例会を開催します。服装

は略装とし、浴衣・甚平などでも結構ですので、よろしくお願ひします。

ロータリーの友誌の紹介

先週のプログラム

《会員増強委員会担当例会》 新入会員卓話



藤井会員増強委員長挨拶

会員増強委員会の例会です。恒例によりまして、新入会員卓話を3名の皆様にお願ひしましたところ、快く引き受けていただきました。また、時間についても3名の中で割り振りしていただきたいとお願ひしましたら、こちらも快く引き受けていただいております。皆様のご清聴をよろしくお願ひいたします。



藤岡里美会員

何を話そうか迷いましたけど、前任者が会社のことを既に話していると思いますので、本日は趣味の野球についてお話しさせていただきます。私が会社に入った当時は、滝川建設協会の野球部に席を置いておりました。当時は田中幹雄会員もおられて、一緒に野球をさせていただきました。印象深いのは、富良野に遠征に行ったときのこと、明日のピッチャーは今日、お酒を飲んでから決めるということになり、非常に頑張ってお酒を飲んで、朝まで付き合っていました。いざ本番になって、朝の2球くらいで、ピッチャーはダメと言われて、非常に落ち込みましたけど、酔っ払った状態でも、野球はできたということがあります。

現在、当社では野球チームを持っておりませんが、協会の野球チームを引き継ぐかたちで、平成4年に作ったものです。このチームの監督になってから、平成7年に初めて京都で開催された全国大会に出場しまして、監督の経験が少なかったものですが大変不安でしたが、当時、地震の後で相手が兵庫県のチームだったということもあり、3-0で勝たせてもらいました。次の試合では、台風がきてしまい何日か間があきまして、もう帰らなければならないのかなどと考えておりましたが、天気が回復して夕方から試合を始めることができました。その時の相手は沖縄で、湿度が90%くらいあったのではないかと思います。呼吸ができないような状態で試合を行っていて、延長戦の末、2-1で負けてしまいました。この相手が沖縄の名護のチームで、姉妹都市名護のフルーツランドというチームでした。

ここでは1勝1敗ということで帰ってきました。その後、全道大会には何回か出てはいたけど、なかなか、全国大会を手に入れることができず、平成12年には国体の一般Bの決勝で負けてしまいました。その時は非常に悔しい思いをし、何とかチームを立て直して頑張ろう、何が足りなかったのかなど、皆で真剣に考えまして、平成15年に念願の国体出場を手に入れることができました。これが、静岡県で開催された「わかふじ国体」です。当時は北海道代表ということで、まず、北海道合宿(強化合宿)から始まりまして、それから千葉に行って合宿をし、合宿から帰ってきてから

も、高校生なみに練習を行いました。皆、精神的にも強くなりまして、この練習で上手になった人もおりました。国体の1回戦の相手は新潟県であり、3-0で見事に勝ちました。2回戦は福岡県、これは延長戦となり、ナイター設備がなかったため途中、バスで照明設備のある球場(ジュビロ磐田の隣)に移って試合を続け、勝つことができました。しかし、次の準決勝では、残念ながら地元チームに2-0で負けてしまいました。ちなみに、この国体ではこの地元チームが優勝しまして、その後の3位4位決定戦で大分に負けてしまったため、4位という結果になっています。全国大会では3勝3敗です。



奥村敦史会員

3月までは本店の配電設備(電柱)を所管する部門で仕事をしておりました。また、部門の教育・研修なども担当しており、滝川テクニカルセンター(研修施設)には、毎年、数回通っていましたので、以前から滝川に住んでいたような感覚を持っています。当社の技術部門に配属となった新入社員は毎年4~6月の3ヶ月間、滝川TCで研修を受けており、今年も約100名の新入社員が滝川で生活していました。また、入社後10年目くらいまでは、研修を受けるために、全道から毎年集まっていますので、当社の技術部門は、滝川が第二の出身地のようなイメージを持っています。

ここで「ほくでん滝川営業所」の仕事について、特に停電になった場合の滝川営業所の対応について、お話をさせていただきます。配電設備は変電所から各ご家庭の近くまで、電気を6千ボルトでお届けする設備で、柱上の変圧器で6千ボルトから100または200ボルトに電圧を下げて電気を送っています。この配電設備を滝川営業所の「配電指令室」で24時間監視しており、停電事故が発生した場合に警報が鳴り響き、同時に滝川営業所の社員の携帯電話にメールが一斉配信されます。その後、指令担当者やシステム・オペレーターが状況を確認して、遠隔操作で停電範囲を徐々に縮小していくほか、電話対応、広報車を現地に出勤させるなどの対応を行っております。なお、停電事故が発生した場合、フリーダイヤル0120-438-121で停電エリアの住所、復旧見込み時間などをご案内しておりますので、ご利用いただければと思います。

滝川営業所には赤色灯のある緊急車両を配備しており、停電事故時には緊急走行で現地に向かいます。また、土砂崩れなどの自然災害で、復旧に長時間・長期間を要する場合に備え、滝川営業所に出力200kWのガスタービン高圧移動発電機車を配備しております。このような発電機車は、全道に30台(出力計17,060kW)配備しておりますので、容量が不足する場合には各事業所に出動を要請して、停電を解消する体制となっております。

以上が滝川営業所の対応ですが、今年は既にカラスの祟、雷、車両衝突などによって、滝川市内でも停電事故が発生しております。停電事故の未然防止については、引き続き万全を期していきますが、万一、停電事故が発生した場合も迅速に復旧に努めて参りますので、ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

最後に当社の近況になりますが、泊3号機は今年1月に試験運転を開始し、7月15日に出力100%に到達しております。今後、100%出力での試験や検査を行い、その後、原子炉を停止して点検を行ったうえで、今年12月から営業運転を開始する予定です。改めまして、泊3号機への皆様のご理解に対しまして、心よりお礼申し上げます。

また、販売電力量について、全道の6月実績は前年度の実績と比較して7.2%の減、滝川管内では6.4%の減、滝川市のみでは4.1%の減と、需要が低迷している状況であり、7月実績は何とか回復できていればと思っております。



戎谷侑男会員

毎週木曜日に札幌から滝川に参っております。何と云っても楽しみなのは、皆様方にお会いできること、そしておいしい食事を頂けることです。また、先日の新入会員オリエンテーションでは、石黒会員からルール、ロータリー精神についてご指導いただきました。我人生で最も良いアドバイスだと思っており、簡潔明瞭にご指導いただきましたことにお礼を申し上げます。当社は平成2年に登記し、資本金1千万円、中央バス100%出資の旅行会社として設立しました。営業開始は平成3年、社員数31名、本社が札幌、事業所は本社、麻生、滝川の3箇所になっており、滝川は

今年4月に開設したばかりです。また、中央バスグループにつきましては、中央バスが本体として15社のグループ会社があり、その中の1社が私どもです。

「旅」という資料を見ていただきたいと思いますが、団体旅行、国内旅行、海外旅行、航空券、宿泊券など、バスは勿論のこと、JR等を含めて旅行に関する仕事をさせていただきますいております。よく知られていないかもしれませんが、旅行会社各社のパッケージ商品も取り扱っております。旅行会社各社とは、良きライバルとして、また良きパートナーとして、これから滝川の方々にお世話になりたいと思っております。

資料の「秋旅」は、札幌発のコースを中心に掲載しており、札幌から当地滝川に来て、観光を楽しんでいただくというコースもあり、「道の駅スタンプラリー&道弁『たきかわ合鴨弁当』を味わう旅」、「グライダーに乗ってみよう!砂川スイートロード買物付き」などがあります。道弁「たきかわ合鴨弁当」のツアーは先月も行いまして、米もおいしい、肉も柔らかくておいしいなど、高い評価をいただいております。今後も当地滝川に色々なお客様をお連れして、滝川に少しでもお役に立てればと思っております。

そのほかの二つの資料は、滝川発の商品で、滝川から北海道内各地に行くツアーなどがあり、非常にリーズナブルで、中身の良いツアーとして設定しております。また、「いい日いい旅 秋物語」は、9月の5連休に設定した企画です。これらをご覧いただければ、ご家族連れ、職場の皆さん、色々な方にご利用いただけるのではないかと思います。

私どもが今まで取組んできたツアーは、表紙裏に印刷している新聞記事をご覧いただければと思います。「大人の修学旅行」では各地域の北海道遺産を巡る旅を用意し、「ものづくりの工場見学」では新聞の製作工程を見学したり、更にお客様から3千円を集めて夕張で屋根の雪下ろしを行うツアーなども組みました。このツアーには、毎年400人くらいのお客様がいらっしゃって、お金を払ってわざわざ雪はねを行うということで、正にロータリーの精神でもあり、すばらしいと思っております。滝川営業所につきましても、できるだけ皆様のお役に立てるようなツアーを作りたいと思っておりますので、ご利用いただければと思います。

また、皆様北海道をもっと楽しんでいただくこと、北海道内交流人口の増加を目指して取り組んでおります。道内の皆様には間近にある観光施設を見ていただきたいと考えております。もあり、すばらしいと思っております。滝川営業所につきましても、できるだけ皆様のお役に立てるようなツアーを作りたいと思っておりますので、ご利用いただければと思います。

また、皆様北海道をもっと楽しんでいただくこと、北海道内交流人口の増加を目指して取り組んでおります。道内の皆様には間近にある観光施設を見ていただきたいと考えております。

ニコニコBOX

藤岡 里美会員

卓話を終えて、ありがとうございました。

奥村 敦史会員

新入会員卓話をおこなって。

戎谷 侑男会員

新入会員卓話をさせて頂いたお礼に。

藤井 照也会員

担当例会を終えて。

会長/川口 義弘
幹事/竹田 行宏
編集/クラス会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM 0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL (0125) 22-3344
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。